

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2020年10月6日

商工中金

仙台銀行と協調し、マグネットギア等の非接触動力伝達装置を製造する 株式会社プロスパイン様を金融面からサポート

商工中金は、厳しい経営環境の中でも、業績の改善に取り組む中小企業の皆さまを、地域金融機関や他の関係機関等と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（仙台支店）は、株式会社プロスパイン様（本社：宮城県大崎市、代表者：渡部 竜也様）に対し、宮城県信用保証協会及び仙台銀行と連携して、既存債務のリストラクチャリングに必要な資金5億400万円を融資しました（仙台銀行8,000万円、商工中金4億2,400万円）。なお、本件の内、2億円については、期間10年期限一括償還型の資本性劣後ローンを適用し、同社の財務体質強化にも寄与しています。

同社は、マグネットギア（磁気歯車）などの非接触動力伝達装置の製造業者です。20件の特許技術を保有し、製品の設計から加工、検査までを一貫して行うとともに、マグネットギアに使用する永久磁石の加工を内製化したこと、特注品の製造にもスピーディに対応しています。

同社は、工場拡張など積極的に業務の拡大を図ってきましたが、リーマンショックや東日本大震災の影響を受け、大きな損失の計上を迫られました。一方、厳しい状況下においても、非接触動力伝達装置の研究開発を継続し、摩耗、発熱、発塵、騒音や振動が発生しないマグネットギアの製造に成功、高い清浄度や衛生基準が要求される半導体や食品の製造工程、医療機器など様々な分野で採用されています。

商工中金は、主要販売先へのヒアリングを含む綿密な事業性評価をVレポート（※）にまとめ、同社技術の活用範囲が多様なことを確認。一方で、更なる企業価値向上には財務内容の改善が必要と考え、税理士を紹介して、管理部門を強化するとともに宮城県再生支援協議会と連携し、中長期の経営計画を同社と策定しました。同計画を全取引金融機関と共有の上、商工中金は、資本性劣後ローンを提供し、財務基盤の強化と金融取引の正常化に貢献しています。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関や関係機関と連携しサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

（※）お客様との信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、企業価値を高めるために作成する事業性評価のツール。

【株式会社プロスパイン様の概要】

| | |
|------|--------------------|
| 所在地 | 宮城県大崎市松山次橋字新千刈田117 |
| 代表者 | 小林 敬様、渡部 竜也様 |
| 資本金 | 9,275万円 |
| 従業員数 | 49名（2020年8月現在） |
| 設立 | 1978年12月 |
| 業種 | 機械部品製造業 |



【同社のマグネットギア製品】